

ひひひひひひひひひひひひひひひ
ととととととととととととととととと
にはははははははははははははははは
は歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩
歩くくくくくくくくくくくくくくく
く

ひ国大壁錠扉のとす
自と境地ををををしぼた
由をををを突こ開のとす
が助越踏きわけしぼた
あけえんぬして歩歩歩
るててでけて くくく

ひひひひひひひひひひひひひひひ
ととととととととととととととととと
にはははははははははははははははは
は歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩歩
歩くくくくくくくくくくくくくくく
く

自今好よ砂道ぶのて
自分日きそ漠がらそく
由のかな見をなぶのて
が足ら方しこくらそく
あで明へなえて歩歩歩
る 日 がてもくくく
へ ら

歩くうた

作詞 谷川俊太郎
作曲 林 光

歩くうた

作詞】谷川 俊太郎
作曲】林 光

1.

ひとは歩く てくてく歩く
ひとは歩く のそのそ歩く
ひとは歩く ぶらぶら歩く
ひとは歩く 道がなくても
ひとは歩く 砂漠をこえて
ひとは歩く よそ見しながら
ひとは歩く 好きな方へ
ひとは歩く 今日から明日へ
ひとは歩く 自分の足で
ひとには歩く 自由がある

